

ふれあいの友

発行責任者:六浦西地区社会福祉協議会会長 相川 元治

相川会長挨拶



黄金比（黄金分割）という言葉をご存じかと思います。広辞苑では「ほぼ1対1.618の長方形の比になる時比較的美観を与えるという」とありますがその代表的なものの1つは名刺です。（代表的な名刺の寸法は縦5.5cm×横9cm）この黄金比を用いた美術品や建物は次のように紹介されています。モナリザの顔とギリシャのパルテノン神殿の輪郭も、黄金比を用いたと言われています。一方、日本が好む比率で別に白銀比という美しさの比率があります。これは1対 $\sqrt{2}$ で五重塔が有名ですが、他に紙のA版、B版のサイズをISO規格として取り入れています。この比率にかかわらせて我々が社会における弱者（要支援者）と支援者との比率について

考えてみたいと思います。当然、支援者>要支援者の形が理想的で望ましいのですが現実には難しいです。一例ですが、横浜市では民生委員1人の担当世帯は200~440世帯ですが欠員もあり、この比率を維持するのは大変なようです。我々の社会において支援する側、される側の比率を補うにはやはり一人一人が常に支援者になるような体制が必要かと思えます。六浦西地区の「金沢ささえあいプラン」では「こんなときこそつながろう！このまちと、このまちの人たちと」~このキャッチコピーのもと、つながりと近所付き合いが私は最も大切と思えます。難しいことはさておき、まず挨拶から始めてみましょう。生活するうえで隣近所の助け合いは困った時の大きな力になると考えております。いかにしてより良いまちにするか、共助の精神をもって住みやすい地域にしていきたいと思えます。

社明大会



9月2日(土)13時30分から約2時間、六浦地区センターで社明大会が開催されました。今回は、「薬物乱用防止について考える」~子どもたちを薬物から守るために~という演題で金沢保護司会の福井宏氏にお話していただきました。薬物事犯者が体験を語ったビデオの上映、薬物乱用とは何か、薬物の危険性、乱用を見つけるための注意点などを聴きました。学校関係者、自治会町内会会長、福祉関係団体代表など53名が参加しました。薬物は、一度、手を出すと人生を台無しにしてしまいます。この「たった一度」をくい止めるために、薬物の危険性を子どもたちに、



早くうちから教えていく必要があると思いました。詳細はQRコードをご覧ください。

秋期地区推進連絡会



10月6日 六浦地区センター 各地で災害が多発している観点から、被災地の復興支援に関わった吉富秀一氏（元金沢区地域振興課長）に講演いただきました。気仙沼市には3名、人吉市には2名の職員が横浜市から派遣され1年間復興支援にあたりました。被災地では家屋は言うに及ばず道路・鉄道・生活インフラも破壊されて未だ住民の生活は元に戻ってない状況も認識しました。

被災地への息の長い支援を考えるとともに、自分が住んでいる場の特性を把握して、日頃から災害への備えをすべきと感じた講演でした。

フレンドまつり

雨天順延のため翌日の6月4日(日)快晴のもと大道小学校校庭で行われました。出来る限りの感染対策をしての実施でした。

グラウンドで幼稚園児から中学生までのダンス、踊り、バトン、吹奏楽が披露され、

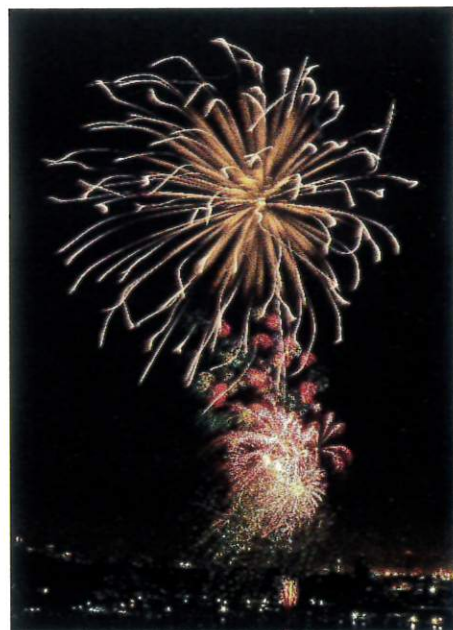
多種の模擬店やゲームで赤ちゃんからシニアまで2000人を超える来場者が楽しい時間を過ごしました。最後はお楽しみ抽選会があり賞品を嬉しそうに持ち帰る人々の姿が印象的でした。



花火の借景を楽しむ会 (初穂六浦自治会)

金沢区ではコロナの影響で毎年8月に開催していた海の公園花火大会が出来ませんでしたでしたが今年、8月26日(日)待ちに待った花火が再開されました。その日に合わせて初穂六浦自治会では、初穂六浦マンションの屋上に住民が集まり花火を観賞しました。屋上からは花火が良く見えて打ちあがる度に歓声があがりました。時間の経過と共に会館事務所の会場に自治会員が集まり、楽しい懇親会の始まりです。

マンションなので、人と人の繋がりが出来にくいので、金沢の花火を良い機会として企画されたこの行事は30年間以上続いています。



荒引敏夫氏撮影

民生委員活動報告 (赤い羽根 街頭募金)

例年、協力している募金活動、以前は3グループに分かれて、六浦駅の街頭で午前、午後と各グループが行っていましたが、今年度は場所を変えて、ヨークマートの店頭、横濱屋の店頭、そして六浦駅の周辺と3か所で頑張りました。小さな手に硬貨をにぎって募金箱に入れ、急いでママの所に戻って行く幼児、恥ずかしそうに協力をして下さった高校生等の姿に疲れも吹き飛んでしまいました。あたたかい心のこもった募金、大切に使用していただきたいと思ひます。



ふれあい秋のつどい

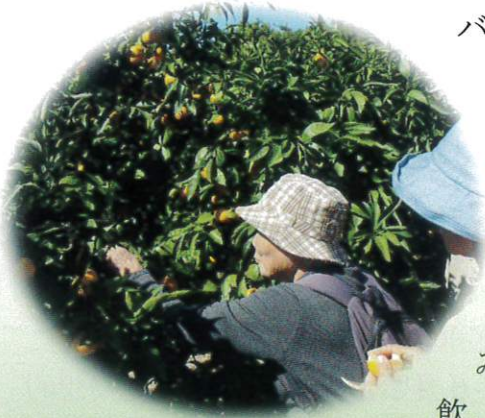


10月26日(木)「らくらく楽しいバスツアー」のキャッチフレーズで今年もはとバスを利用し、南房総に行きました。

162名の参加、バス4台は六浦西地区の各地を午前8時に出発、最初に東京湾アクアラインの海ほたるPAで休憩後、人数の都合でバスが2台ずつの別行動になりましたが、おいしい握り寿司や天ぷら他の昼食、ミカン狩りで園内食べ放題、カステラ工房での

試食、はちみつ工房でのはちみつの試食とはちみつ酒の試飲、地元野菜の

買い物と本当に楽しくておいしい旅を満喫し予定通りの時間に全員元気に帰宅しました。山のようなお土産を両手にそして背中にはリュックを背負って・・・。



ファミリーコンサート

保健活動推進員が開催していたファミリーコンサートが4年ぶりに11月19日(日)に地区センターで

行われました。ピアノとフルートの演奏の素晴らしい音色に、皆、うっとり！心も穏やかになり、音楽の力を再認識しました。大人64名、子ども20名の参加でした。



子ども文化祭

六浦西子ども会が主催する文化祭を大道小学校で11月23日(木)開催しました。200名を越える参加者で、体育館では子どもによるソーラン節、ビンゴゲーム、校庭ではヨーヨーづくり、バルーンアートを楽しみました。



トピックス

侍従川かるがも紹介（高宗台自治会）

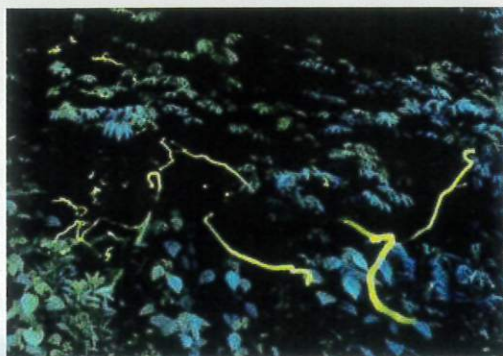
侍従川にかるがもの親子が棲みついて、泳いだり休んでいたりとそして餌をつついて食べたりして六浦のアイドルになっているのをご存知ですか？かるがもは日によって川上、川下と場所を変えて、住民を楽しませてくれています。親鳥が安全に大きく育つように常に子ども達を見守っています。「侍従川を守る会」の皆様の努力で川の水もきれいになり、かるがも親子も幸せに過ごせる事でしょう。晩春から秋まで可愛い姿を見る事が出来ます。



日本の自然フォトコンテスト入選作品

荒引敏夫氏撮影

大道中学校 ホタル観賞



「ホタル乱舞」 荒引敏夫氏撮影

5月27日（土）午後8時頃より「侍従川を守る会」主催のホタル観賞会が行われました。校門を入った所より運動場の隅まできれいに澄んだ水が流れている川があり、そこにホタルが生息していて、毎年6月頃ホタルが飛び交う幻想的な風景が初夏の風物詩になっています。今年は春先から暖かい日が続いたためでしょうか例年より1週間ほど早く光のショーを楽しむ事ができました。10年以上いらしている高齢者や家族連れの方々と賑わい、たくさんのホタルの乱舞に歓喜の声が聞かれました。いつまでもきれいな川が保たれ、ホタルの姿を次世代の方達にも見ていただきたいと思います。

湘南六浦自治会 運動会

今年50周年記念として第43回運動会を六浦スポーツ広場で10月7日（土）に開催しました。午前10時に開始、運動会にはつきものの鈴割、玉入れ、徒競走等を始め尻圧競争、グランドゴルフ等の珍しい種目もあり楽しそうに挑戦していました。ご高齢の方々、若いお父さん、お母さん、子ども達が多く参加していて良い運動会でした。

今年50周年記念として第



・編集後記

「コロナ発生から約3年間、世間の諸行事はほとんど中止や形を変えての開催でした。その様な状況の中、今年度、六浦西の諸団体はどうしたら元の様に活動出来るかとそれぞれが知恵を出し合い、出来る限りの対策を取りながら何事も無く実行出来ました。その頑張りの一部分を紹介しました。」

*編集委員： 広報委員長：岡田須美子、広報委員：田村みゆき

内田 弘之（六浦西地区社会福祉協議会副会長）

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。